

2025年2月7日

食品廃棄削減の取組

経営企画本部
サステナビリティグループ° S D G s 推進ユニット

目次

1. 企業紹介：三菱食品について
2. 食品廃棄量推移
3. 食品廃棄削減の取組

企業紹介：三菱食品について

三菱食品の目指す在り姿



出典：三菱食品株式会社HP ([Our Purpose](#) | [三菱食品株式会社 \(mitsubishi-shokuhin.com\)](#))

©2024 Mitsubishi Shokuhin Co., Ltd. All Rights Reserved

 Mitsubishi Shokuhin

企業紹介：三菱食品について(サステナビリティ重点課題と2030年目標)

- 2030年度に向けて4つの重点課題と10項目の目標に継続的に取り組む

重点課題	目 標
環境 	① 2050年カーボンニュートラルの実現に向け、CO2排出量を2016年対比60%削減する。 ② 食品廃棄量を2016年対比50%削減する。 ③ プラスチック資源循環を推進し、環境に配慮した製品を活用する。
地域・暮らし 	④ 強靱で持続可能なサプライチェーンを構築する。 ⑤ 地域課題の解決と地域貢献に資する商品やサービスを創出または拡充する。 ⑥ 海外成長市場で日本の食文化の需要を創出または拡充する。 ⑦ 国内需要の変化に対応し、生活者ニーズに合わせて商品を開発し提供する。
健康 	⑧ 健康課題を解決し、健康に貢献する商品やサービスを創出または拡充する。
価値創造の基盤 	⑨ 個性を尊重し、能力や適性を活かして健康的に活躍できる組織風土を醸成し、エンゲージメントを向上させる。 ⑩ デジタル技術を活用して業務を変革し、サプライチェーン全体の効率化と生産性向上に貢献する。

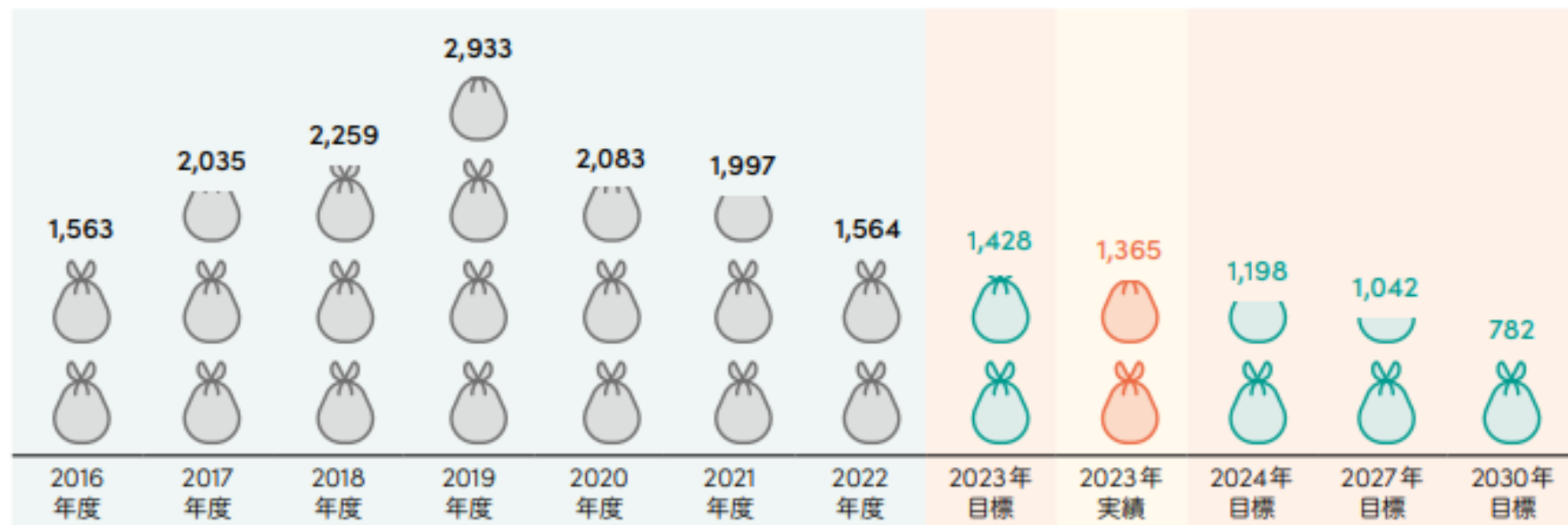
出典：三菱食品株式会社HP (<https://www.mitsubishi-shokuhin.com/pdf/ir/index/msvision2030.pdf>)

©2024 Mitsubishi Shokuhin Co., Ltd. All Rights Reserved

食品廃棄量推移

三菱食品では、2030年までに食品廃棄量を2016年対比で50%削減することを目指して取り組んでいます！

(単位：t)



※ 数値は三菱食品単体の実績。再生利用量含む

出さない！

売り切る！

社会貢献・リサイクル

食品廃棄削減の取組

出さない！

AI活用による受発注精度向上

「需要予測による適正在庫化」「発注自動化」のAIシステムを段階的に導入し、流通の最適化と食品ロス削減を実現。



需要予測、販売計画、在庫情報、発注情報、特売終売情報 など

売り切る！

スマリテ活用

文京GGTに無人販売機「スマリテ」を設置し、社内販売を実施中。

（主な活用部署：輸入商品開発本部、首都圏支社、ライフネット本部、国内商品開発本部、CVS本部）



社会貢献・リサイクル

寄付・寄贈

どうしても販売出来ずに残ってしまった商品をフードバンク、子ども食堂へ寄付。

